

別記様式第 5 別添

箱根山地域広域捕獲計画
(令和 5 年 4 月 1 日から 6 年 3 月 31 日まで)

作成主体：静岡県、神奈川県

1 計画作成の背景及び目的等

箱根山東麓地域には、100 年以上にわたってニホンジカが生息していないと考えられていたが、1980（昭和 55）年頃から目撃されるようになった。2013（平成 25）年には仙石原湿原（神奈川県唯一の湿原）での生息が明らかになり、2015（平成 27）年にはほぼ全域で影響が観察されるようになった。捕獲個体の DNA 分析の結果、富士山・丹沢及び伊豆半島両地域由来であることが示されている。

2021（令和 3）年に実施した各種モニタリング調査により、生息分布及び植生影響が箱根山全域で急速に高まり、深刻となっている状況が示されたことから、今後、関係機関の連携による対策強化が不可欠な状況にある。

静岡県側の箱根西麓・金時山地域には、ブナの原生林が生育する貴重な自然環境があることから、国立公園の特別保護地区及び第 1 種特別地域等に指定されている。しかし、近年はニホンジカの影響を大きく受け、植生が著しく衰退している。また、にんじん・いも類などの農業被害や造林地の植栽木などの森林被害も深刻化している。

ヒメシャガ等の希少植物が生育している神奈川県側の明神ヶ岳周辺地域では、ニホンジカが定着している。また、急斜面な場所が多く、アクセスが困難な箇所が多いことから、捕獲圧に偏りが見られる。

このため、静岡県及び神奈川県は、県境付近におけるニホンジカによる生態系への影響や農林業被害の軽減を目的として、連携して本計画を作成し、捕獲の実施に取り組む。

2 対象とする指定管理鳥獣の種類

| |
|-------|
| ニホンジカ |
|-------|

3 捕獲等の実施区域

| 実施区域名 | 住所等 | 選定理由 | 他法令等 |
|------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------|
| 箱根西麓・金時山地域 (静岡県エリア) | 静岡県 小山町、 御殿場市、 裾野市、 三島市 | 近年、局所的に生息密度が上昇しており、植生被害や農林業被害が発生している。 | 富士箱根伊豆国立公園、金時山地域 国有林 |
| 明神ヶ岳周辺地域 (神奈川県エリア) | 神奈川県 箱根町、 南足柄市 | 地域内では定着が進んでおり、植生への深刻な影響が明らかになりつつある。 | 富士箱根伊豆国立公園 |

- (注) 1 実施区域名欄には、実施区域の名称を記載する。
- 2 住所等欄には、都道府県名、市町村名及び地名等を記載する。
- 3 選定理由欄には、当該計画を作成するに当たり行った調査結果や既存の捕獲等の実施状況等を踏まえ、当該区域を選定した理由を記載する。
- 4 他法令等欄には、国・都道府県指定鳥獣保護区、国立・国定公園、国有林、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（以下「鳥獣被害防止特措法」という。）に定める被害止計画の対象地域、国や市町村による捕獲事業の実施区域等、事前の調整や協議等が必要な地域と重複する場合においては、その名称を記載する。
- 5 実施区域の全体を示す地形図等の図面を添付する。

4 目標

| 目標 | 備考 |
|------------------------------|----|
| 箱根西麓・金時山地域 : 捕獲数の目標 250 頭 | |
| 明神ヶ岳周辺地域 : 捕獲数の目標 40 頭 | |

- (注) 連携捕獲協議会に参加する各都道府県の第二種特定鳥獣管理計画の管理の目標を考慮・勘案し、広域捕獲計画の目標として、捕獲数等の具体的な数値等を記載する。なお、5に掲げる捕獲等の対応別の捕獲数目標についても備考欄に記載する。

5 目標の達成に向けた捕獲等の対応

| |
|--|
| <p>○箱根西麓・金時山地域</p> <p>静岡県における指定管理鳥獣捕獲等事業（効果的捕獲促進事業（広域連携タイプ））による捕獲。わな猟（くくりわな）とする。</p> |
| <p>○明神ヶ岳周辺地域</p> <p>神奈川県による管理捕獲事業（県単独予算）による捕獲。銃猟及びわな猟（くくりわな等）とする。</p> |

- (注) 1 本計画の目標に向けた捕獲等をどのように実施するのか記載する。（連携捕獲協議会による捕獲（許可捕獲）や、各都道府県における許可捕獲、指定管理鳥獣捕獲等事業、狩猟などの区分を記載する。また、なぜその対応としたのか、対応が複数になる場合はすみ分け方法についても記載する。）
- 2 都府県が事業実施主体となり効果的捕獲促進事業における広域連携タイプと他の捕獲事業を組み合わせて広域捕獲を実施する場合、その概要、広域連携捕獲としての妥当性等を記載する。

6 捕獲の実施期間

| 実施区域名 | 実施期間 |
|------------|--------------------|
| 箱根西麓・金時山地域 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 |
| 明神ヶ岳周辺地域 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 |

7 捕獲等の内容

(1) 捕獲の方法等

| 実施区域 | 使用する猟法 | 捕獲等の規模 |
|------------|---|--|
| 箱根西麓・金時山地域 | <ul style="list-style-type: none"> わな猟（くくりわな） 搬出が困難な個体は適切に埋設処理する | 3,000 基日程度（想定） |
| 明神ヶ岳周辺地域 | <ul style="list-style-type: none"> 銃猟及びわな猟（くくりわな等） 搬出が困難な個体は適切に埋設処理する | 銃猟（巻狩りと単独捕獲）は10回程度、くくりわなは1,500基日程度（想定） |

- (注) 1 広域捕獲計画の作成段階で記載可能な範囲で簡潔に記載する。なお、受託者との調整の上で決定する場合においては、現時点で記載可能な事項や想定する内容を記載する。
- 2 使用する猟法は、銃猟（誘引捕獲、忍び猟、巻狩り等）、わな猟（くくりわな、箱わな、囲いわな等）、網猟等の別について記載する。

- 3 銃猟にあつては非鉛製銃弾を使用する旨を記載する。ただし、非鉛製銃弾を使用できない場合は、鳥類の鉛中毒を防止するための具体的な措置を記載すること。
- 4 捕獲等の規模は、日数、人数、人工数、回数、わなの設置数等により目安を記載する。
- 5 効果的捕獲促進事業のうち広域連携タイプと他の事業を組み合わせる広域連携捕獲を実施する場合にあつては、広域連携の全体が分かるよう、他の事業の内容も含め記載すること。

(2) 実施体制

○箱根西麓・金時山地域

事業実施主体：静岡県

実施形態：委託

委託業務の範囲：ニホンジカの捕獲、捕獲実績報告

委託先：認定鳥獣捕獲等事業者等

○明神ヶ岳周辺地域

事業実施主体：神奈川県

実施形態：委託、派遣労働者（自然環境保全センターに配置）による捕獲

委託業務の範囲：ニホンジカの捕獲、捕獲実績報告

委託先：捕獲事業者等

(注) 協議会が事業の実施主体となる場合、連携捕獲協議会名を記載する。また、隣接する都府県が連携して広域連携捕獲を実施する場合、関係する都府県名等を記載する。さらに、捕獲等の作業を直営で行うか委託するかを記載し、委託する場合は、委託の業務範囲と、想定される委託先（認定鳥獣捕獲等事業者への委託を想定等）を記載する。結果の把握及び評価並びに計画の改善を実施し得る体制を整備する場合や、大学・研究機関及び鳥獣の研究者等の専門家との連携をする場合はその旨を記載する。

8 捕獲情報等の収集、整理、分析評価、各種計画等への反映

○箱根西麓・金時山地域

捕獲日、捕獲場所（メッシュ）、性別、捕獲後の処理方法、
わな設置場所、出猟日、作業人数、わな基数、目撃頭数
得られた結果については、生息頭数の推定等の判断材料とする。

○明神ヶ岳周辺地域

捕獲日、捕獲場所、性別、捕獲後の処理方法、
わな設置場所、捕獲実施日、作業人数、わな基数、目撃頭数

各種モニタリング結果と合わせて生息状況の変化を評価する。

(注) どのような捕獲情報等を収集するのか、整理、分析評価をどのように行い、各種計画（本計画や第二種特定鳥獣管理計画等）等へどのように反映するのかを記載する。

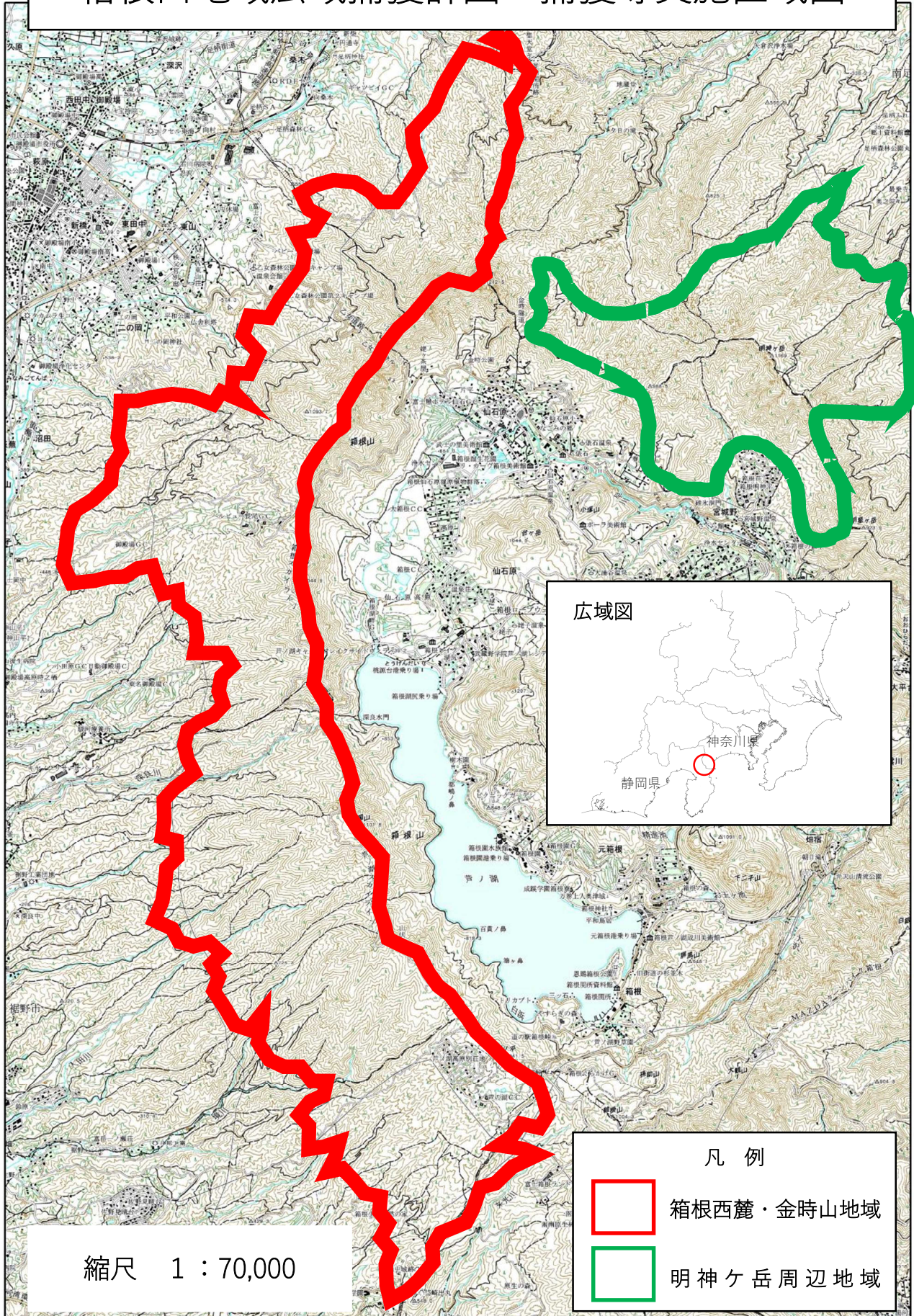
9 その他

捕獲情報アプリを活用して、捕獲事業者及び捕獲従事者の報告事務の手間を軽減させる。また、捕獲情報アプリに蓄積した捕獲状況等から、メスジカが多く獲れた場所や生息している場所を捕獲従事者に提供し、メスジカの効率的な捕獲を促進する。（静岡県）

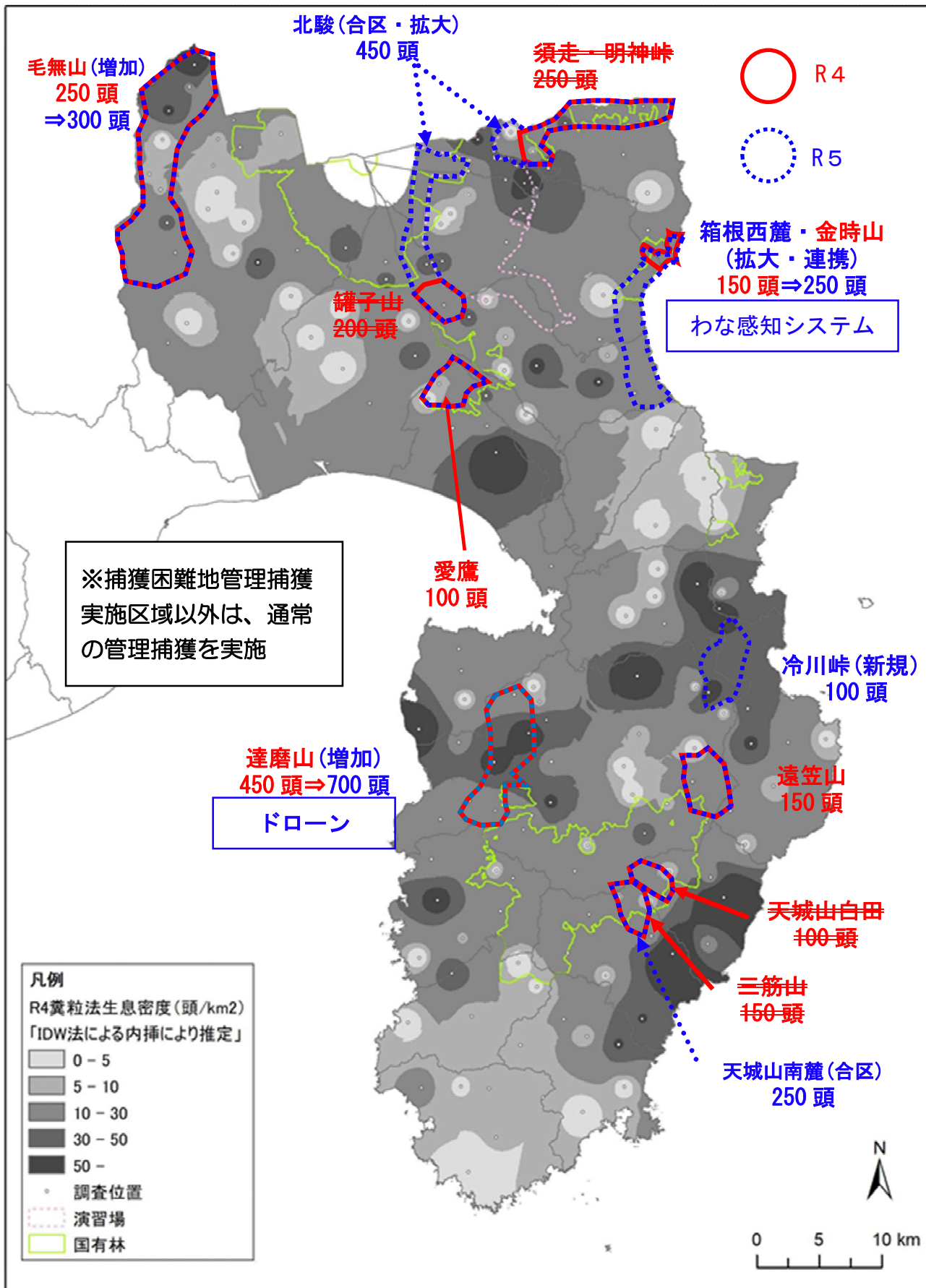
遠隔でわなの作動を電波受信で確認できる技術を管理捕獲に試行的に導入し、技術の実用性と見回り等捕獲労務の負担軽減効果を検証する。（静岡県）

(注) 1～8の項目以外に追加する項目がある場合は、9以降に追加して記載する。

箱根山地域広域捕獲計画 捕獲等実施区域図



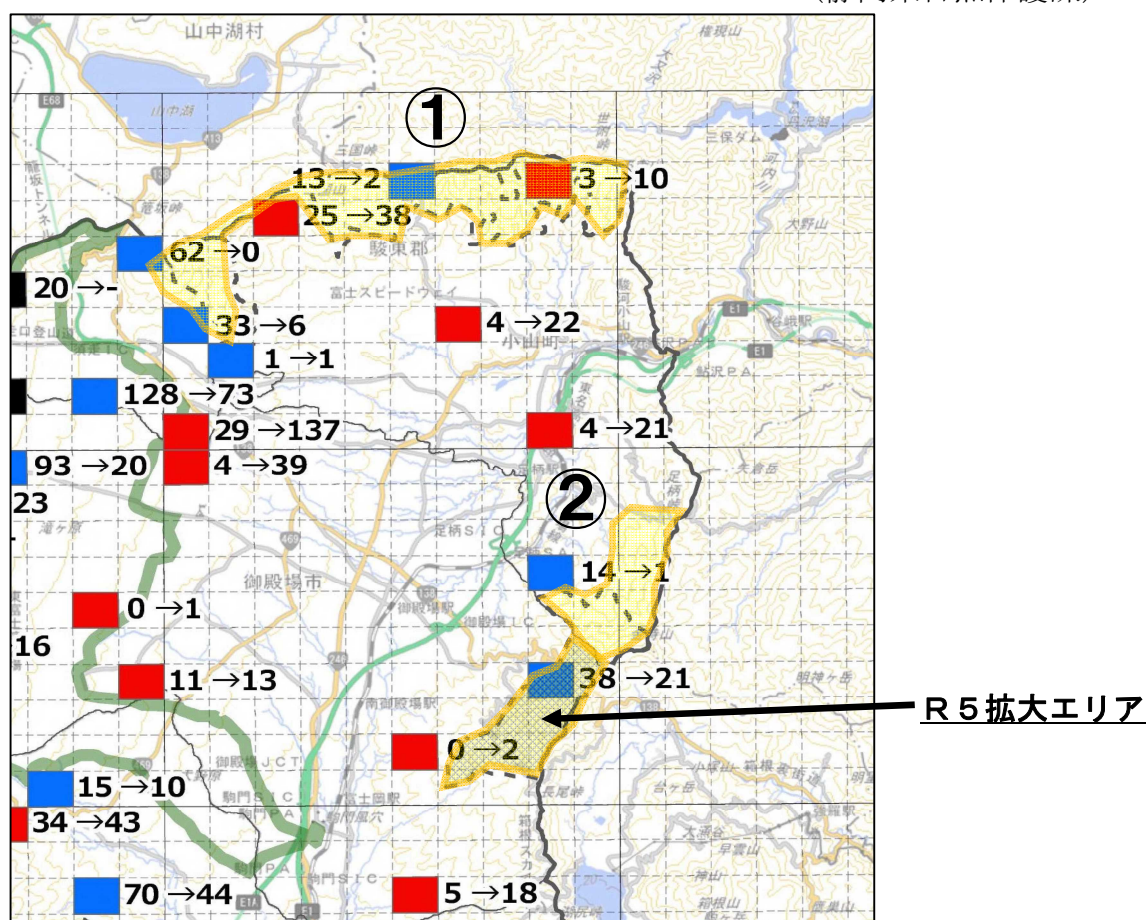
令和5年度 ニホンジカ捕獲困難地管理捕獲実施箇所(伊豆・富土地域)



注) 糞粒法生息密度はニホンジカの生態・生息状況から標高2000m以上は非表示とした。
富士川以西地域は海岸線から調査地点の5km範囲外までを非表示とした。

神奈川県境でのニホンジカ捕獲困難地管理捕獲

(静岡県自然保護課)



| No | 捕獲困難地捕獲名称 | 捕獲頭数 | 受託者(※) |
|----|--------------------------------|---|--|
| ① | 須走・明神峠 ※R5は裾野市の一部エリアを追加して実施 | R2:236頭 R3:320頭 R4:337頭 R5:450頭(予定)※ | 一般社団法人静岡県猟友会 (地元以外の御殿場、富士宮、清水等の従事者も捕獲に参加している) |
| ② | 箱根西麓・金時山 | R3:127頭 R4:150頭 R5:250頭(予定) | NPO法人おだわらいノシカネット (令和2年11月に、神奈川県知事より認定鳥獣捕獲等事業者の認定を受ける) |

※ 制限付き一般競争入札による。令和3年度より、入札参加資格要件の一部を下記のとおり変更した。該当者は現在、県内6者、県外2者(NPO法人おだわらいノシカネット、環境事業計画(株))である。

| 変更前 | 変更後 |
|---------------------------------|---|
| ・「認定鳥獣捕獲等事業者」として静岡県の認定を受けていること。 | ・「認定鳥獣捕獲等事業者」の認定を受けていること。 ・静岡県内に本社又は事業所を有する者であること。 |

わな捕獲感知システムの導入による効率的な捕獲活動の実証

(静岡県自然保護課)

1 事業の背景

- わな設置後の見回り作業は、捕獲の有無やわなの状態の確認、錯誤捕獲の早期発見等のため、毎日1回以上行うことを原則としている。
- しかし、捕獲従事者の高齢化とニホンジカの捕獲圧強化・捕獲区域の奥地化等に伴い、見回り作業の負担が増加している。

2 事業概要

今年度から、開発事業者、認定鳥獣捕獲等事業者等の協力を得て、遠隔でわなの作動状況を電波受信できる技術を捕獲重点区域で試行的に導入し、効果を実証する。

- 実施箇所 伊豆又は富士地域の捕獲重点区域(奥山等捕獲困難地)で試行
- 実施内容
 - ① 地域内に3箇所程度、親機を設置し、林道から数百メートル離れた箇所など、特に見回りに負担が掛かる「くくりわな」に子機を設置する。
 - ② わなに設置した子機から捕獲動作をメールで送信する。
 - ③ 車中や自宅など、わな設置場所から離れた場所で受信し、捕獲状況を確認する。

3 期待する効果

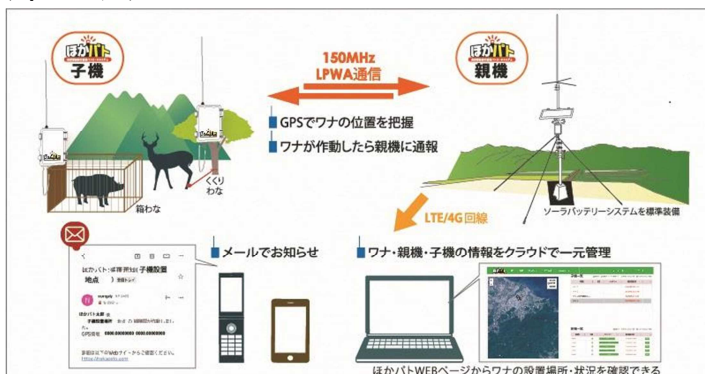
(1) 捕獲体制の強化

毎日1回以上行うことを原則とする見回り作業を減らすことができ、平日に見回り作業ができないサラリーマン等も、捕獲活動への参加が可能になる。

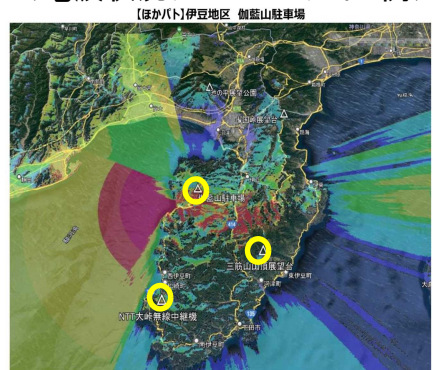
(2) ジビエ利用の拡大

事前に捕獲情報を把握することで、止め刺しの準備等ができ、搬出時間が短縮されることで、ジビエ利活用に適した処理が可能になる。

<イメージ>



<電波状況シミュレーション例>



赤い箇所が受信可能エリア

4 年次計画

| 年度 | R 5 | R 6 | R 7 |
|------|----------------|--------------------------------|-----|
| 実施内容 | 負担軽減、作業効率化等の検証 | 条件整理(効率的な通信環境の確保、効率的な運用方法の確立等) | 実用化 |
| 事業費 | 3,000千円(全額国庫) | 3,000千円(全額国庫) | 0千円 |

捕獲情報アプリ「HUNTER GO!(ハンターゴー!)」活用したメスジカの捕獲強化

(静岡県自然保護課)

1 概要

静岡県と東芝ライテック株が共同開発した捕獲情報アプリ「HUNTER GO!」を令和4年度から本格的に活用し、活用することで、捕獲従事者の報告事務の手間を軽減するとともに、報告される雌雄別の捕獲情報を集積し、捕獲事業者の集計業務の作業を軽減している。

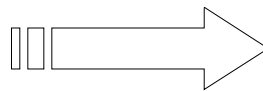
集積した情報から、メスジカが多く獲れている場所や移動状況など捕獲に有用な情報を整理・分析し、捕獲従事者に提供することで、メスジカの捕獲を促進する。

2 「HUNTER GO!」の活用



捕獲従事者

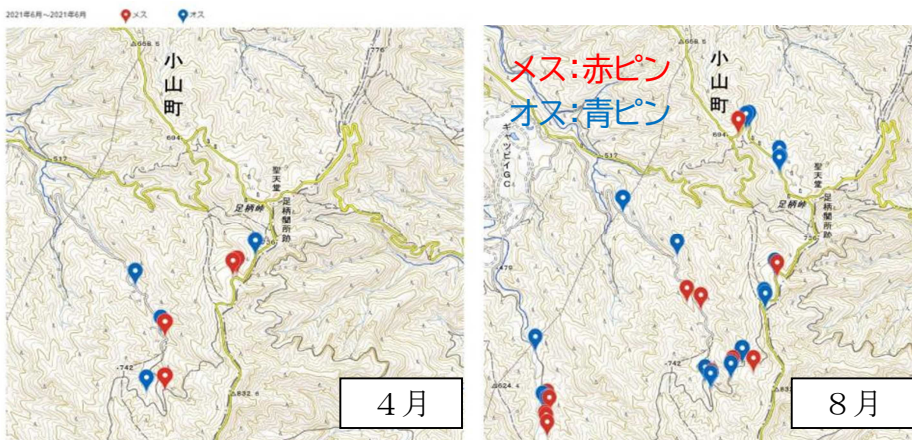
- 捕獲したら写真を撮影
- 捕獲方法、オスメス等を入力
- スマホからピッと送信!



捕獲場所がピンに落ちる

県・捕獲事業者

3 捕獲情報の分析例



- 月ごとにメスの捕獲場所を地図上に表示。
- 捕獲従事者に情報提供することで、どの季節においてもメスを効率的に捕獲する。

4 共同開発者

東芝ライテック株式会社 (〒 神奈川県横須賀市船越町1-201-1)



ニホンジカの生息状況

(静岡県 自然保護課)

1 目的

県内各地でニホンジカの増加が進み、農林産物被害や生態系への影響が深刻化しているため、適切な個体数管理に向けニホンジカの捕獲対策が急務である。

科学的なデータと分析に基づき策定する第二種特定鳥獣管理計画（5年計画）と、前年度対策の効果を検証して策定する実施計画（次年度計画）に資するため、ニホンジカの生息実態調査等を行っている。

2 モニタリング調査及び生息頭数の推定

(1) 生息実態調査（糞粒法）

| 地域 | 内容 | 調査箇所数 | | 経費（予算額） |
|-------|-----------------|-------|--------------|---|
| | | R4 | R5 (当初予定) | |
| 伊豆 | 生息密度調査 (糞粒法) | 89 | 90 | R3:24,355千円 R4:24,355千円 R5:22,355千円 |
| 富士 | | 78 | 78 | |
| 富士川以西 | | 85 | 95 | |
| 計 | | 252 | 263 | |

(2) 生息実態調査結果（生息密度等）

| 年度 | 調査内容 | 調査結果概要 | 伊豆地域 メス妊娠 率(%) |
|-----|--------------------------------------|---|----------------------|
| H13 | 伊豆地域の生息密度（糞粒法・ライトセンサス） | H13～15の結果から算出 | — |
| H14 | | 平均生息密度：14.4頭/km ² (伊豆) | — |
| H15 | | 伊豆推定個体数 1.1±0.8万頭 | 79 |
| H16 | 伊豆及び富土地域の生息密度（糞粒法） | H16～18の結果から算出 | 81 |
| H17 | | 平均生息密度：26.0頭/km ² (伊豆) 18.4頭/km ² (富士) | 84 |
| H18 | | 伊豆推定個体数 1.6～2.6万頭 富士推定個体数 1.0±0.6万頭 | 87 |
| H19 | 伊豆地域の生息密度（糞粒法） | H19～21の結果から算出 | 93 |
| H20 | | 平均生息密度：27.4頭/km ² (伊豆) | 80 |
| H21 | | 伊豆推定個体数 2.2±1.0万頭 | 76 |
| H22 | 伊豆地域の生息密度（糞粒法） | H22～24の結果から算出 | 73 |
| H23 | 伊豆及び富土地域の生息密度（糞粒法） | | 81 |
| H24 | 伊豆及び富土地域の生息密度（糞粒法） 富土地域でライトセンサス調査 | | — |
| H25 | 伊豆、富士、富士川以西地域の生息密度 (糞粒法、糞塊法) | 平均生息密度：22.5頭/km ² (伊豆) 25.0頭/km ² (富士) 2.6頭/km ² (富士川以西) | — |
| H26 | | 平均生息密度：25.6頭/km ² (伊豆) 33.2頭/km ² (富士) 4.6頭/km ² (富士川以西) | — |

| 年度 | 調査内容 | 調査結果概要 | 伊豆地域 メス妊娠 率(%) |
|-----|--------------------------------------|--|----------------------|
| H27 | 伊豆、富士、富士川以西地域の生息密度 (糞粒法、糞塊法) | 平均生息密度：30.0頭/km ² (伊豆) 29.3頭/km ² (富士) 4.1頭/km ² (富士川以西) | — |
| H28 | 伊豆、富士、富士川以西地域の生息密度 (糞粒法、糞塊法) | 平均生息密度：29.2頭/km ² (伊豆) 31.8頭/km ² (富士) 6.8頭/km ² (富士川以西) | — |
| H29 | 伊豆、富士、富士川以西地域の生息密度 (糞粒法)の単年度全箇所調査 | 平均生息密度：26.9頭/km ² (伊豆) 29.2頭/km ² (富士) 7.8頭/km ² (富士川以西) | — |
| H30 | 伊豆、富士、富士川以西地域の生息密度 (糞粒法)の単年度全箇所調査 | 平均生息密度：28.6頭/km ² (伊豆) 30.0頭/km ² (富士) 8.0頭/km ² (富士川以西) | — |
| R元 | 伊豆、富士、富士川以西地域の生息密度 (糞粒法)の単年度全箇所調査 | 平均生息密度：27.5頭/km ² (伊豆) 28.7頭/km ² (富士) 10.8頭/km ² (富士川以西) | — |
| R2 | 伊豆、富士、富士川以西地域の生息密度 (糞粒法)の単年度全箇所調査 | 平均生息密度：24.8頭/km ² (伊豆) 22.6頭/km ² (富士) 9.1頭/km ² (富士川以西) | — |
| R3 | 伊豆、富士、富士川以西地域の生息密度 (糞粒法)の単年度全箇所調査 | 平均生息密度：24.3頭/km ² (伊豆) 20.2頭/km ² (富士) 9.2頭/km ² (富士川以西) | — |
| R4 | 伊豆、富士、富士川以西地域の生息密度 (糞粒法)の単年度全箇所調査 | 平均生息密度：23.3頭/km ² (伊豆) 19.8頭/km ² (富士) 11.7頭/km ² (富士川以西) | — |

※生息密度調査は、平成28年度までは全調査地点を毎年3分の1ずつ調査し、平均生息密度を算出。平成29年度からは、毎年、全地点一斉調査に移行。

階層ベイス法による令和4年度ニホンジカの推定生息頭数（案）

1 推定方法

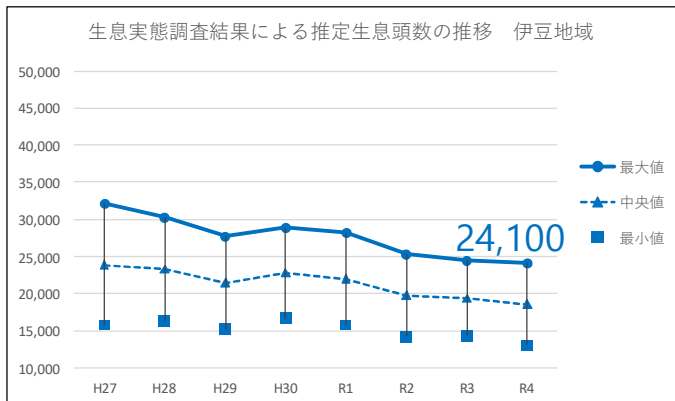
本県では、ニホンジカの生息頭数を階層ベイス法により推定しており、昨年度から、通常の基本指標（①、②、③）に加え、本県独自の追加指標（④、⑤）を取り入れて、推定精度の向上を図っている。

| 指 | 基本指標 | | 追加指標 | |
|---|------------|-----------|---------------|-------------|
| | ① | 糞粒法平均生息密度 | ④ | 国有林内カメラ撮影結果 |
| ② | 狩猟（銃猟）目撃効率 | ⑤ | 管理捕獲（わな猟）捕獲効率 | |
| ③ | 捕獲頭数 | | | |

2 令和4年度推定生息頭数

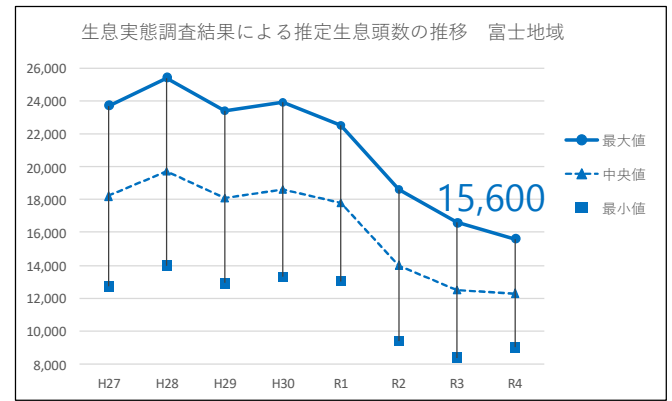
（1）糞粒法による推定結果（参考）

<伊豆地域>



| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 最大値 | 32,100 | 30,300 | 27,700 | 28,900 | 28,200 | 25,300 | 24,500 | 24,100 |
| 中央値 | 23,900 | 23,300 | 21,500 | 22,800 | 22,000 | 19,800 | 19,400 | 18,600 |
| 最小値 | 15,800 | 16,400 | 15,200 | 16,700 | 15,800 | 14,200 | 14,300 | 13,100 |

<富士地域>

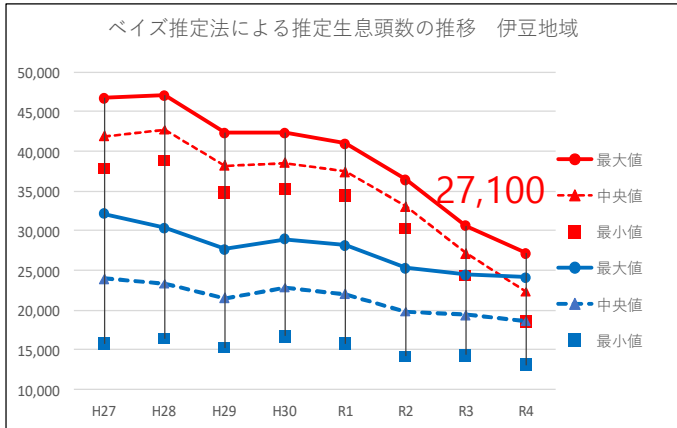


| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 最大値 | 23,700 | 25,400 | 23,400 | 23,900 | 22,500 | 18,600 | 16,600 | 15,600 |
| 中央値 | 18,200 | 19,700 | 18,100 | 18,600 | 17,800 | 14,000 | 12,500 | 12,300 |
| 最小値 | 12,700 | 14,000 | 12,900 | 13,300 | 13,000 | 9,400 | 8,400 | 9,000 |

（図1 糞粒法による推定生息頭数）

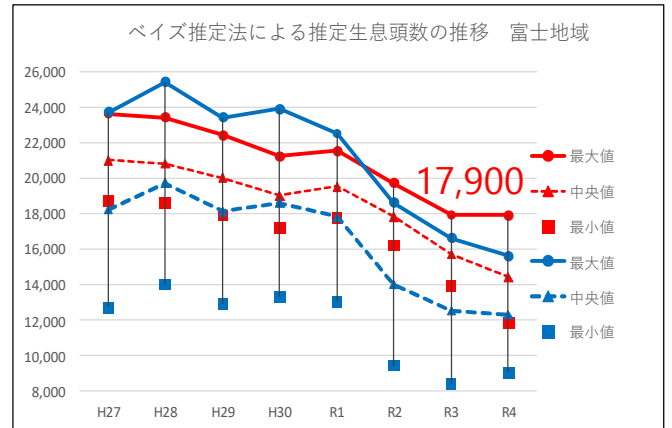
(2) 階層ベイズ法による推定結果

<伊豆地域>



| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 最大値 | 46,700 | 47,000 | 42,300 | 42,300 | 41,000 | 36,400 | 30,600 | 27,100 |
| 中央値 | 41,900 | 42,700 | 38,200 | 38,500 | 37,400 | 33,000 | 27,100 | 22,300 |
| 最小値 | 37,800 | 38,800 | 34,800 | 35,200 | 34,300 | 30,200 | 24,300 | 18,500 |

<富士地域>

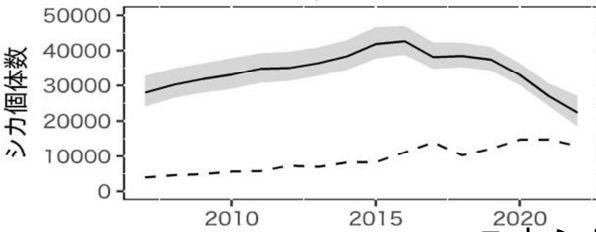


| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 最大値 | 23,600 | 23,400 | 22,400 | 21,200 | 21,500 | 19,700 | 17,900 | 17,900 |
| 中央値 | 21,000 | 20,800 | 20,000 | 19,000 | 19,500 | 17,800 | 15,700 | 14,400 |
| 最小値 | 18,700 | 18,600 | 17,900 | 17,200 | 17,700 | 16,200 | 13,900 | 11,800 |

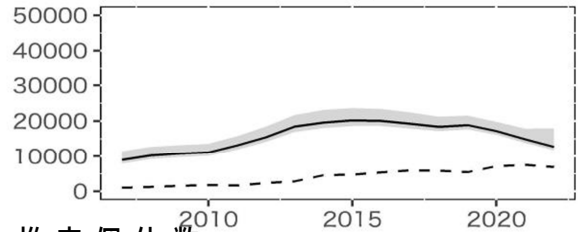
(図2 階層ベイズ法による推定生息頭数)

【基本指標の時系列】

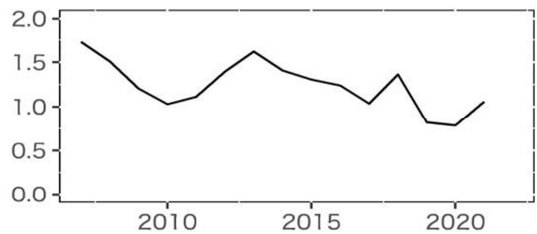
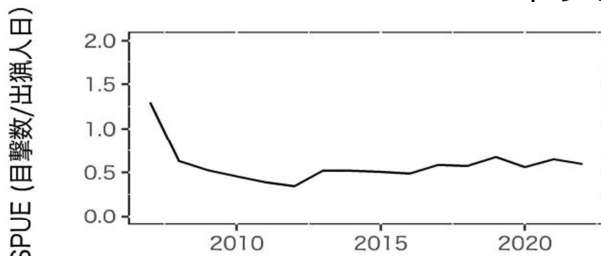
<伊豆地域>



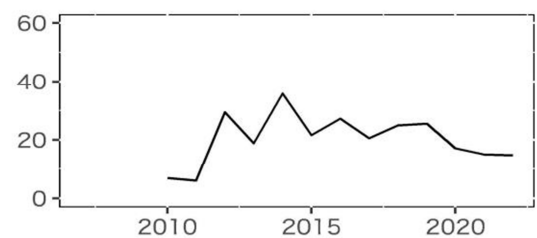
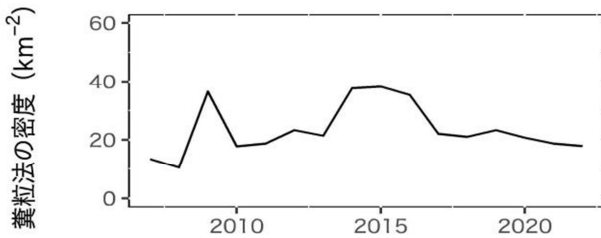
<富士地域>



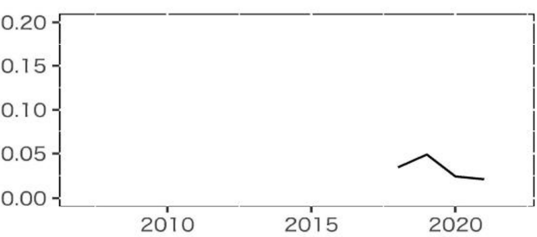
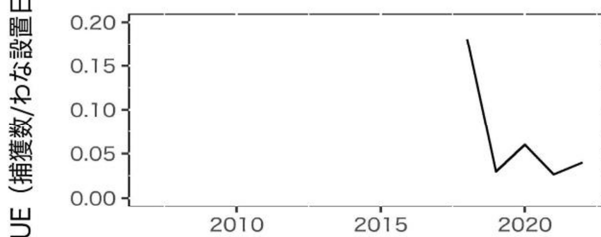
ニホンジカ推定個体数



① 狩猟(銃猟)目撃効率

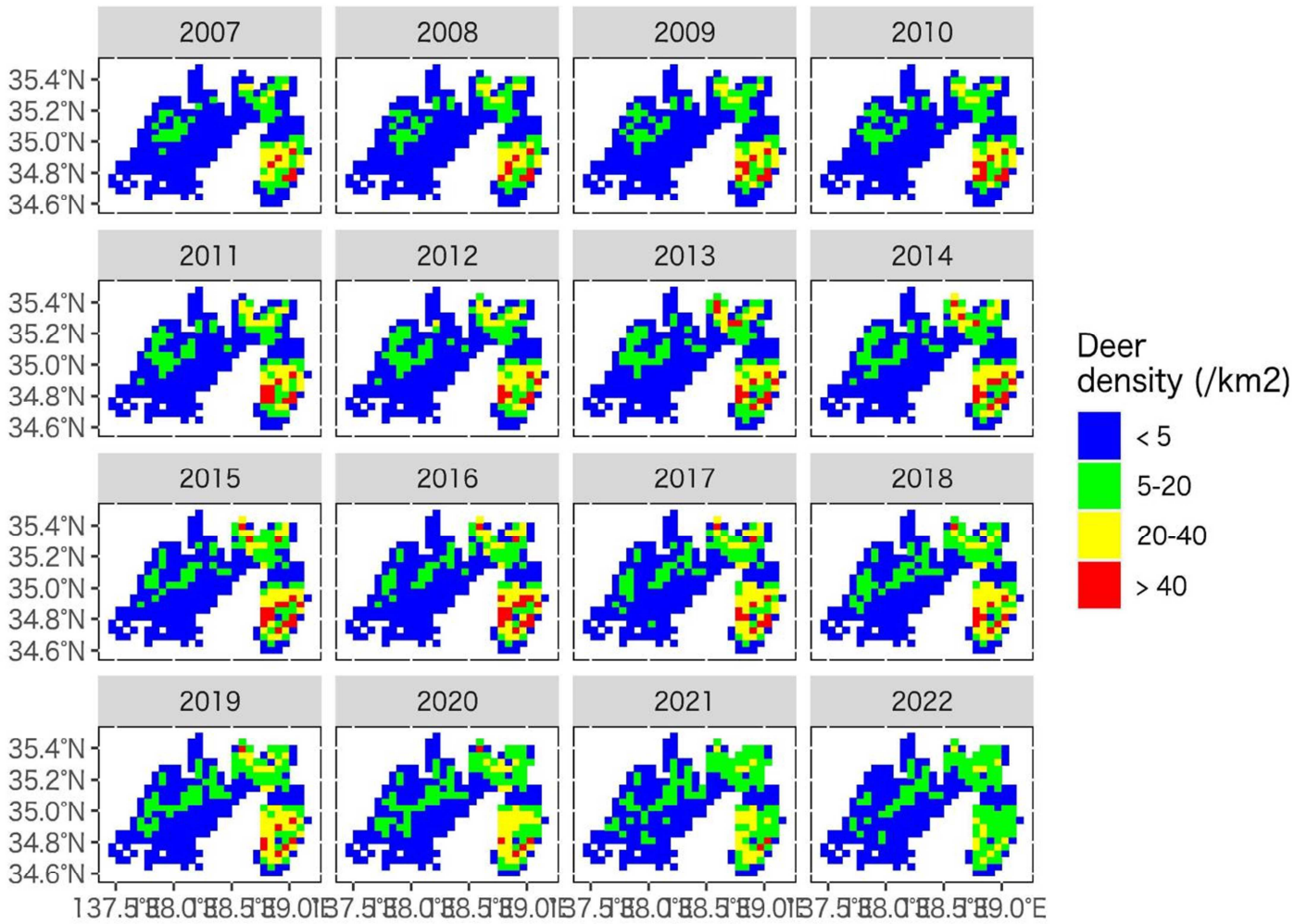


② 糞粒法平均生息密度

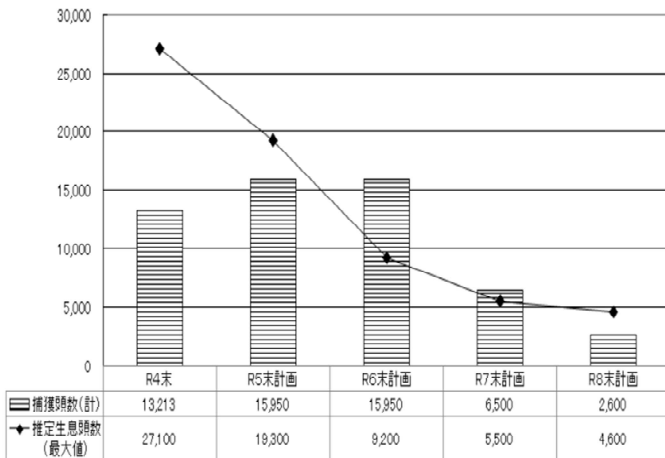


③ 管理捕獲(わな猟)捕獲効率

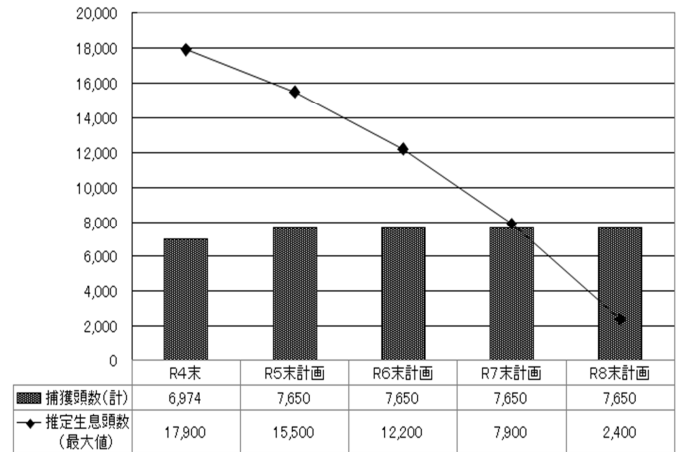
【推定生息密度 時空間変動】



(3) 個体数削減シミュレーション



(図3 伊豆地域個体数削減シミュレーション)



(図4 富士地域個体数削減シミュレーション)

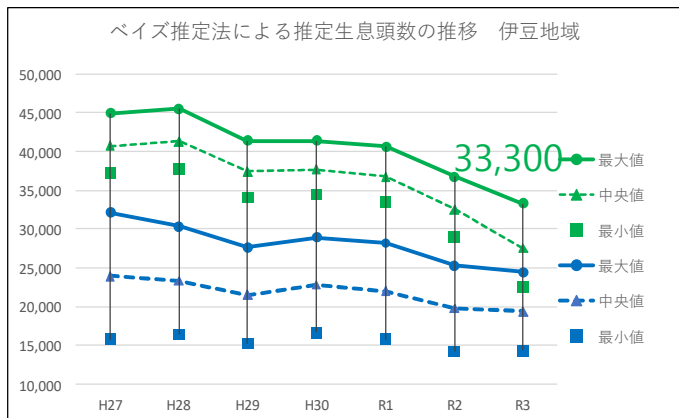
3 考察

- ・階層ベイズ法による生息頭数の推定の結果、伊豆地域及び富士地域の推定生息頭数は、ともに減少傾向がみられる。
- ・令和8年度末における推定生息頭数の目標達成に向け、伊豆地域では令和6年度まで、富士地域では令和8年度まで、現状の捕獲頭数を維持する必要がある。

(参考) 令和3年度の推定

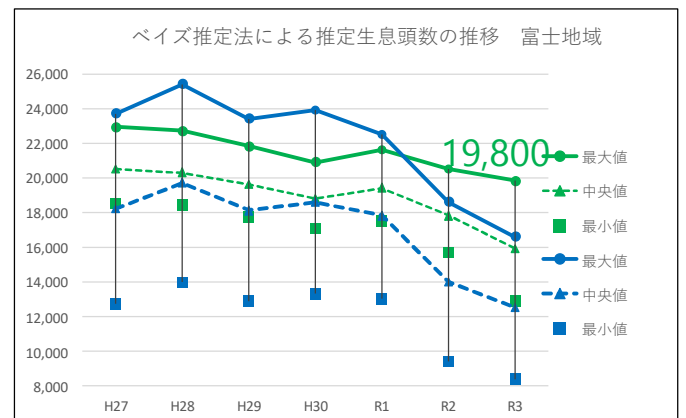
階層ベイズ法は、再び過去にさかのぼって算出し推定するため、令和4年度推定は、令和3年度推定と比べ、令和3年度以前の推定生息頭数が概ね減少した。

<伊豆地域>



| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 最大値 | 44,900 | 45,500 | 41,400 | 41,400 | 40,600 | 36,700 | 33,300 |
| 中央値 | 40,700 | 41,300 | 37,400 | 37,700 | 36,700 | 32,500 | 27,500 |
| 最小値 | 37,200 | 37,700 | 34,100 | 34,400 | 33,500 | 28,900 | 22,600 |

<富士地域>



| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 最大値 | 22,900 | 22,700 | 21,800 | 20,900 | 21,600 | 20,500 | 19,800 |
| 中央値 | 20,500 | 20,300 | 19,600 | 18,800 | 19,400 | 17,800 | 15,900 |
| 最小値 | 18,500 | 18,400 | 17,700 | 17,100 | 17,500 | 15,700 | 12,900 |

整理番号 箱01 設置場所 畑引山国有林 91い2 林道上

設置状況



撮影アングル



撮影状況



令和3年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 |
|--------|------------|--------|----|-----|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | |
| 304 | | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| 305 | | 1 | | 1 | 1 | 1 |
| 306 | 7 | 17 | 1 | 25 | 16 | 24 |
| 307 | 3 | 6 | 1 | 10 | 7 | 10 |
| 308 | 1 | 14 | 1 | 16 | 11 | 14 |
| 309 | 9 | 21 | 7 | 37 | 19 | 35 |
| 310 | 4 | 16 | 6 | 26 | 16 | 24 |
| 311 | 3 | 12 | 6 | 21 | 13 | 20 |
| 312 | 1 | 10 | 7 | 18 | 9 | 15 |
| 401 | | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| 402 | | 2 | 5 | 7 | 5 | 6 |
| 403 | | 9 | 9 | 18 | 10 | 12 |
| 計 | 28 | 110 | 47 | 185 | 113 | 167 |
| 全撮影 | 1,127 | 別途追加撮影 | なし | | | |
| 撮影 | 942 | 別途イソ撮影 | なし | | | |
| 撮影最大頭数 | 3 | | | | | |
| 平均撮影枚数 | 5.6 | | | | | |
| 平均撮影頭数 | 1.1 | | | | | |

令和4年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|----|----|-----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 404 | 1 | 12 | 3 | 16 | 9 | 13 | 87 |
| 405 | | 11 | 7 | 18 | 11 | 16 | 74 |
| 406 | | 12 | 5 | 17 | 5 | 13 | 104 |
| 407 | 1 | 12 | 2 | 15 | 10 | 12 | 84 |
| 408 | 7 | 12 | 8 | 27 | 17 | 21 | 166 |
| 409 | 7 | 12 | 12 | 31 | 20 | 28 | 128 |
| 410 | 30 | 10 | 17 | 57 | 22 | 53 | 133 |
| 411 | 2 | 4 | 3 | 9 | 6 | 8 | 37 |
| 412 | 1 | 6 | 6 | 13 | 7 | 10 | 52 |
| 501 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 9 |
| 502 | | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| 503 | | 3 | 3 | 6 | 4 | 5 | 17 |
| 計 | 49 | 96 | 67 | 212 | 114 | 182 | 894 |
| 全撮影枚数 | 1,111 | | | | 別途追加撮影 | なし | |
| 撮影最大頭数 | 3 | | | | 別途イソ撮影 | なし | |
| 平均撮影枚数 | 4.9 | | | | | | |
| 平均撮影頭数 | 1.2 | | | | | | |

令和5年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|----|----|-----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 504 | | 9 | 3 | 12 | 8 | 8 | 72 |
| 505 | 1 | 14 | 3 | 18 | 11 | 15 | 94 |
| 506 | 3 | 13 | 9 | 25 | 15 | 22 | 139 |
| 507 | 5 | 15 | 13 | 33 | 16 | 28 | 208 |
| 508 | 3 | 10 | 13 | 26 | 12 | 23 | 174 |
| 509 | 3 | 6 | 7 | 16 | 10 | 15 | 82 |
| 510 | 25 | 4 | 12 | 41 | 20 | 41 | 153 |
| 511 | 1 | 7 | 2 | 10 | 7 | 8 | 50 |
| 512 | 2 | 6 | 3 | 11 | 7 | 9 | 45 |
| 601 | 2 | 8 | 9 | 19 | 6 | 11 | 49 |
| 602 | | | | | | | |
| 603 | | | | | | | |
| 計 | 45 | 92 | 74 | 211 | 112 | 180 | 1066 |
| 全撮影枚数 | 1,347 | | | | 別途追加撮影 | なし | |
| 撮影最大頭数 | 3 | | | | 別途イソ撮影 | なし | |
| 平均撮影枚数 | 5.9 | | | | | | |
| 平均撮影頭数 | 1.2 | | | | | | |

| | |
|----|-------|
| 撮影 | 1,066 |
|----|-------|

設置状況



撮影アングル



撮影状況



令和3年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 |
|--------|------------|---------|----|-----|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | |
| 304 | | 5 | | 5 | 5 | 5 |
| 305 | | 11 | 3 | 14 | 9 | 13 |
| 306 | | 15 | 1 | 16 | 10 | 13 |
| 307 | 3 | 8 | | 11 | 5 | 6 |
| 308 | 5 | 12 | | 17 | 10 | 15 |
| 309 | 6 | 8 | 5 | 19 | 10 | 16 |
| 310 | 10 | 1 | | 11 | 7 | 10 |
| 311 | | | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 312 | 1 | 2 | | 3 | 1 | 1 |
| 401 | 3 | 3 | 1 | 7 | 5 | 6 |
| 402 | 2 | 3 | 2 | 7 | 4 | 5 |
| 403 | 2 | 2 | | 4 | 1 | 2 |
| 計 | 32 | 70 | 13 | 115 | 68 | 93 |
| 全撮影 | 632 | 別途カメラ撮影 | | | | なし |
| 撮影 | 559 | 別途イソ撮影 | | | | なし |
| 撮影最大頭数 | 3 | | | | | |
| 平均撮影枚数 | 6.0 | | | | | |
| 平均撮影頭数 | 1.2 | | | | | |

令和4年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|-----|----|-----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 404 | 4 | 12 | 2 | 18 | 12 | 16 | 59 |
| 405 | 2 | 20 | 10 | 32 | 16 | 28 | 139 |
| 406 | 2 | 16 | 13 | 31 | 12 | 25 | 104 |
| 407 | 2 | 12 | 9 | 23 | 15 | 21 | 51 |
| 408 | | 10 | 7 | 17 | 10 | 14 | 58 |
| 409 | 8 | 7 | 7 | 22 | 16 | 20 | 57 |
| 410 | 4 | 6 | 2 | 12 | 9 | 11 | 41 |
| 411 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 412 | | 6 | | 6 | 5 | 5 | 20 |
| 501 | 1 | 4 | 1 | 6 | 4 | 4 | 14 |
| 502 | | 2 | 2 | 4 | 3 | 4 | 6 |
| 503 | 2 | 7 | 1 | 10 | 4 | 6 | 31 |
| 計 | 25 | 103 | 54 | 182 | 107 | 155 | 587 |
| 全撮影 | 712 | | | | 別途カメラ撮影 | | あり |
| 撮影最大頭数 | 3 | | | | 別途イソ撮影 | | なし |
| 平均撮影枚数 | 3.8 | | | | | | |
| 平均撮影頭数 | 1.2 | | | | | | |

令和5年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|----|----|-----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 504 | 2 | 10 | 9 | 21 | 11 | 18 | 56 |
| 505 | | 18 | 18 | 36 | 14 | 28 | 96 |
| 506 | | 11 | 3 | 14 | 10 | 11 | 52 |
| 507 | | 7 | 19 | 26 | 16 | 21 | 47 |
| 508 | 1 | 4 | 11 | 16 | 9 | 13 | 32 |
| 509 | | 2 | 6 | 8 | 5 | 5 | 17 |
| 510 | 3 | | | 3 | 3 | 3 | 12 |
| 511 | | | | | | | |
| 512 | | 4 | 1 | 5 | 3 | 3 | 20 |
| 601 | | 2 | 3 | 5 | 3 | 5 | 5 |
| 602 | | | | | | | |
| 603 | | | | | | | |
| 計 | 6 | 58 | 70 | 134 | 74 | 107 | 337 |
| 全撮影 | 413 | | | | 別途カメラ撮影 | | あり |
| 撮影最大頭数 | 3 | | | | 別途イソ撮影 | | なし |
| 平均撮影枚数 | 3.1 | | | | | | |
| 平均撮影頭数 | 1.3 | | | | | | |

| | |
|----|-----|
| 撮影 | 337 |
|----|-----|

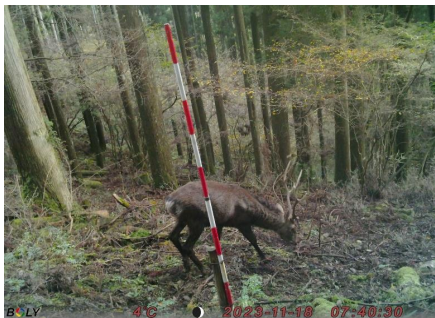
設置状況



撮影アングル



撮影状況



令和3年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 |
|--------|------------|-----|-----|--------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | |
| 304 | | 3 | 1 | 4 | 4 | 4 |
| 305 | | 6 | 5 | 11 | 5 | 7 |
| 306 | 1 | 13 | 10 | 24 | 15 | 20 |
| 307 | 1 | 10 | 10 | 21 | 9 | 18 |
| 308 | | 16 | 7 | 23 | 14 | 17 |
| 309 | 14 | 4 | 10 | 28 | 14 | 22 |
| 310 | 34 | 10 | 10 | 54 | 21 | 51 |
| 311 | 22 | 31 | 21 | 74 | 23 | 59 |
| 312 | 6 | 16 | 10 | 32 | 12 | 27 |
| 401 | 3 | 9 | 3 | 15 | 10 | 11 |
| 402 | | 3 | 4 | 7 | 5 | 7 |
| 403 | 1 | 1 | 3 | 5 | 3 | 3 |
| 計 | 82 | 122 | 94 | 298 | 135 | 246 |
| 全撮影 | 1,117 | | | 別途加工撮影 | | なし |
| 撮影 | 1,011 | | | 別途加工撮影 | | あり |
| 撮影最大頭数 | | | 4 | | | |
| 平均撮影枚数 | | | 4.1 | | | |
| 平均撮影頭数 | | | 1.2 | | | |

令和4年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|-----|-------|-----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 404 | 3 | 4 | 11 | 18 | 12 | 17 | 60 |
| 405 | 5 | 10 | 15 | 30 | 18 | 26 | 119 |
| 406 | | 16 | 22 | 38 | 14 | 29 | 155 |
| 407 | 1 | 6 | 23 | 30 | 17 | 26 | 85 |
| 408 | 2 | 2 | 21 | 25 | 13 | 20 | 59 |
| 409 | 7 | 9 | 24 | 40 | 21 | 38 | 97 |
| 410 | 39 | 18 | 50 | 107 | 30 | 97 | 217 |
| 411 | 6 | 25 | 21 | 52 | 20 | 45 | 189 |
| 412 | | 6 | 2 | 8 | 7 | 8 | 32 |
| 501 | 1 | 2 | 3 | 6 | 5 | 5 | 13 |
| 502 | | 3 | 4 | 7 | 4 | 4 | 10 |
| 503 | 1 | 1 | 3 | 5 | 3 | 4 | 11 |
| 計 | 65 | 102 | 199 | 366 | 164 | 319 | 1047 |
| 全撮影 | | | 1,212 | | 別途加工撮影 | | あり |
| 撮影最大頭数 | | | 3 | | 別途加工撮影 | | あり |
| 平均撮影枚数 | | | 3.3 | | | | |
| 平均撮影頭数 | | | 1.1 | | | | |

令和5年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|----|-----|-----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 504 | 2 | 7 | 6 | 15 | 7 | 13 | 33 |
| 505 | | 12 | 9 | 21 | 15 | 18 | 101 |
| 506 | | 6 | 9 | 15 | 9 | 10 | 43 |
| 507 | | 9 | 22 | 31 | 13 | 24 | 65 |
| 508 | | 8 | 11 | 19 | 13 | 16 | 40 |
| 509 | 7 | 7 | 25 | 39 | 16 | 33 | 78 |
| 510 | 19 | 15 | 38 | 72 | 27 | 62 | 168 |
| 511 | 13 | 18 | 20 | 51 | 19 | 39 | 159 |
| 512 | 2 | 7 | 7 | 16 | 8 | 11 | 28 |
| 601 | | 3 | 10 | 13 | 4 | 12 | 22 |
| 602 | | | | | | | |
| 603 | | | | | | | |
| 計 | 43 | 92 | 157 | 292 | 131 | 238 | 737 |
| 全撮影 | | | 832 | | 別途加工撮影 | | あり |
| 撮影最大頭数 | | | 3 | | 別途加工撮影 | | あり |
| 平均撮影枚数 | | | 3.1 | | | | |
| 平均撮影頭数 | | | 1.2 | | | | |

| | |
|----|-----|
| 撮影 | 737 |
|----|-----|

設置状況



撮影アングル



撮影状況



令和3年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 |
|--------|------------|----|----|-----|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | |
| 304 | | | | | | |
| 305 | 1 | 7 | 2 | 10 | 6 | 8 |
| 306 | 3 | 13 | 7 | 20 | 13 | 20 |
| 307 | 5 | 11 | 16 | 32 | 19 | 26 |
| 308 | 5 | 8 | 8 | 21 | 11 | 13 |
| 309 | 5 | 6 | 8 | 19 | 12 | 16 |
| 310 | 7 | 3 | 8 | 18 | 13 | 18 |
| 311 | 5 | 17 | 3 | 25 | 13 | 19 |
| 312 | | 12 | 1 | 13 | 10 | 10 |
| 401 | | 1 | 3 | 4 | 4 | 4 |
| 402 | | 3 | | 3 | 3 | 3 |
| 403 | 1 | 4 | 2 | 7 | 4 | 4 |
| 計 | 32 | 85 | 58 | 172 | 108 | 141 |
| 全撮影 | 1,453 | | | | 別途有功撮影 | あり |
| 撮影 | 898 | | | | 別途无功撮影 | あり |
| 撮影最大頭数 | | | | 4 | | |
| 平均撮影枚数 | | | | 6.4 | | |
| 平均撮影頭数 | | | | 1.2 | | |

令和4年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|-----|-------|-----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 404 | | 5 | 3 | 8 | 5 | 6 | 42 |
| 405 | | 31 | 13 | 44 | 15 | 31 | 158 |
| 406 | 4 | 12 | 9 | 25 | 15 | 22 | 139 |
| 407 | 7 | 11 | 18 | 36 | 19 | 30 | 154 |
| 408 | 3 | 10 | 6 | 19 | 12 | 16 | 121 |
| 409 | 5 | 17 | 7 | 29 | 16 | 22 | 131 |
| 410 | 6 | 6 | 5 | 17 | 13 | 16 | 70 |
| 411 | 5 | 5 | 2 | 12 | 10 | 10 | 44 |
| 412 | 2 | 6 | 4 | 12 | 8 | 9 | 86 |
| 501 | 1 | 5 | 1 | 7 | 5 | 5 | 47 |
| 502 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 503 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 計 | 34 | 108 | 69 | 211 | 120 | 169 | 996 |
| 全撮影 | | | 1,199 | | 別途有功撮影 | | あり |
| 撮影最大頭数 | | | 4 | | 別途无功撮影 | | なし |
| 平均撮影枚数 | | | 5.9 | | | | |
| 平均撮影頭数 | | | 1.2 | | | | |

令和5年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|----|-----|-----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 504 | 1 | 2 | 2 | 5 | 4 | 4 | 19 |
| 505 | 8 | 10 | 9 | 27 | 16 | 22 | 115 |
| 506 | 5 | 10 | 5 | 20 | 12 | 16 | 84 |
| 507 | | 14 | 21 | 35 | 20 | 30 | 131 |
| 508 | | 13 | 17 | 30 | 12 | 23 | 126 |
| 509 | 4 | 10 | 7 | 21 | 14 | 19 | 77 |
| 510 | 5 | 7 | 4 | 16 | 11 | 13 | 71 |
| 511 | 1 | 15 | 2 | 18 | 9 | 12 | 75 |
| 512 | 2 | 16 | 4 | 22 | 12 | 18 | 91 |
| 601 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 8 |
| 602 | | | | | | | |
| 603 | | | | | | | |
| 計 | 26 | 98 | 72 | 196 | 111 | 159 | 797 |
| 全撮影 | | | 979 | | 別途有功撮影 | | なし |
| 撮影最大頭数 | | | 4 | | 別途无功撮影 | | なし |
| 平均撮影枚数 | | | 5.0 | | | | |
| 平均撮影頭数 | | | 1.2 | | | | |

| | |
|----|-----|
| 撮影 | 797 |
|----|-----|

設置状況



撮影アングル



撮影状況



令和3年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 |
|--------|------------|-----|---------|-----|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | |
| 304 | | 9 | | 9 | 6 | 6 |
| 305 | 1 | 36 | 9 | 46 | 19 | 29 |
| 306 | 8 | 32 | 7 | 47 | 21 | 35 |
| 307 | 11 | 12 | 9 | 32 | 17 | 29 |
| 308 | 7 | 7 | 7 | 21 | 14 | 19 |
| 309 | 10 | 10 | 13 | 33 | 19 | 27 |
| 310 | 21 | 18 | 17 | 56 | 26 | 48 |
| 311 | 14 | 15 | 10 | 39 | 17 | 31 |
| 312 | | 7 | 4 | 11 | 6 | 8 |
| 401 | | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 |
| 402 | | 5 | 5 | 10 | 4 | 7 |
| 403 | | 2 | 1 | 3 | 3 | 3 |
| 計 | 72 | 154 | 84 | 310 | 154 | 244 |
| 全撮影 | 1,932 | | 別途カメラ撮影 | | なし | |
| 撮影 | 1,530 | | 別途カメラ撮影 | | なし | |
| 撮影最大頭数 | | | 4 | | | |
| 平均撮影枚数 | | | 6.3 | | | |
| 平均撮影頭数 | | | 1.3 | | | |

令和4年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|-----|-------|-----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 404 | | 8 | 10 | 18 | 9 | 10 | 46 |
| 405 | | 14 | 23 | 37 | 15 | 24 | 179 |
| 406 | 4 | 14 | 17 | 35 | 17 | 29 | 171 |
| 407 | 11 | 11 | 19 | 41 | 21 | 35 | 264 |
| 408 | 3 | 13 | 20 | 36 | 19 | 29 | 159 |
| 409 | 8 | 10 | 23 | 41 | 20 | 31 | 180 |
| 410 | 22 | 14 | 18 | 54 | 21 | 49 | 216 |
| 411 | 9 | 4 | 18 | 31 | 15 | 23 | 115 |
| 412 | 1 | 1 | 10 | 12 | 9 | 12 | 38 |
| 501 | | 5 | 7 | 12 | 9 | 11 | 41 |
| 502 | | 3 | 6 | 9 | 4 | 5 | 31 |
| 503 | | 3 | 6 | 9 | 5 | 7 | 15 |
| 計 | 58 | 100 | 177 | 335 | 164 | 265 | 1455 |
| 全撮影 | | | 1,750 | | 別途カメラ撮影 | | なし |
| 撮影最大頭数 | | | 4 | | 別途カメラ撮影 | | あり |
| 平均撮影枚数 | | | 5.5 | | | | |
| 平均撮影頭数 | | | 1.3 | | | | |

令和5年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|-----|-------|-----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 504 | 3 | 1 | 9 | 13 | 6 | 11 | 40 |
| 505 | 2 | 8 | 26 | 36 | 17 | 27 | 172 |
| 506 | | 12 | 27 | 39 | 16 | 27 | 105 |
| 507 | | 12 | 28 | 40 | 20 | 33 | 163 |
| 508 | | 10 | 21 | 31 | 17 | 27 | 121 |
| 509 | 7 | 16 | 22 | 45 | 18 | 35 | 98 |
| 510 | 24 | 14 | 27 | 65 | 24 | 57 | 171 |
| 511 | 1 | 10 | 30 | 41 | 20 | 34 | 92 |
| 512 | 1 | 15 | 11 | 27 | 16 | 24 | 83 |
| 601 | | 11 | 5 | 16 | 10 | 13 | 32 |
| 602 | | | | | | | |
| 603 | | | | | | | |
| 計 | 38 | 109 | 206 | 353 | 164 | 288 | 1077 |
| 全撮影 | | | 1,348 | | 別途カメラ撮影 | | なし |
| 撮影最大頭数 | | | 8 | | 別途カメラ撮影 | | なし |
| 平均撮影枚数 | | | 3.7 | | | | |
| 平均撮影頭数 | | | 1.2 | | | | |

| | |
|----|-------|
| 撮影 | 1,077 |
|----|-------|

設置状況



撮影アングル



撮影状況



令和3年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現回数 | 出現回数 |
|--------|------------|----|---------|-----|------|------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | |
| 304 | | 3 | 1 | 4 | 4 | 4 |
| 305 | 7 | 7 | 11 | 25 | 14 | 17 |
| 306 | 4 | 3 | 7 | 14 | 11 | 12 |
| 307 | 3 | 4 | 5 | 12 | 7 | 7 |
| 308 | 6 | 8 | 6 | 20 | 10 | 13 |
| 309 | 4 | 5 | 10 | 19 | 12 | 15 |
| 310 | 6 | 8 | 5 | 19 | 10 | 16 |
| 311 | 3 | | | 3 | 3 | 3 |
| 312 | | 2 | | 2 | 1 | 1 |
| 401 | 1 | 1 | | 2 | 2 | 2 |
| 402 | | | | | | |
| 403 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 3 |
| 計 | 35 | 42 | 46 | 123 | 77 | 93 |
| 全撮影 | 358 | | 別途カメラ撮影 | なし | | |
| 撮影 | 263 | | 別途カメラ撮影 | あり | | |
| 撮影最大頭数 | 5 | | | | | |
| 平均撮影枚数 | 2.8 | | | | | |

令和4年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現回数 | 出現回数 | 撮影枚数 |
|--------|------------|----|---------|-----|------|------|------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 404 | 1 | 4 | 4 | 9 | 5 | 5 | 17 |
| 405 | 6 | 5 | 10 | 21 | 10 | 13 | 18 |
| 406 | 6 | 1 | 11 | 18 | 11 | 15 | 19 |
| 407 | 3 | | 6 | 9 | 9 | 9 | 20 |
| 408 | 7 | 6 | 12 | 25 | 19 | 21 | 21 |
| 409 | 20 | 5 | 11 | 36 | 15 | 31 | 22 |
| 410 | 11 | 11 | 9 | 31 | 19 | 28 | 23 |
| 411 | 6 | 5 | 7 | 18 | 12 | 14 | 24 |
| 412 | 2 | 5 | 2 | 9 | 6 | 8 | 25 |
| 501 | | 4 | 1 | 5 | 3 | 3 | 26 |
| 502 | | | | | | | 27 |
| 503 | 1 | 2 | 2 | 5 | 3 | 5 | 28 |
| 計 | 63 | 48 | 75 | 186 | 112 | 152 | 270 |
| 全撮影 | 509 | | 別途カメラ撮影 | なし | | | |
| 撮影最大頭数 | 4 | | 別途カメラ撮影 | あり | | | |
| 平均撮影枚数 | 1.8 | | | | | | |
| 平均撮影頭数 | 1.2 | | | | | | |

令和5年度

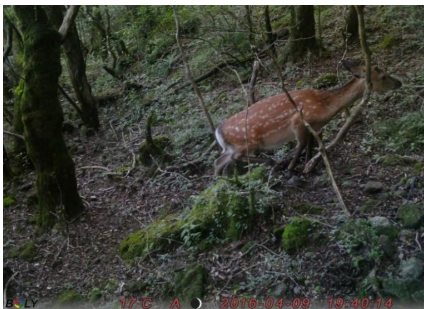
| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現回数 | 出現回数 | 撮影枚数 |
|--------|------------|----|---------|-----|------|------|------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 504 | 8 | 2 | 10 | 20 | 8 | 13 | 45 |
| 505 | 19 | 6 | 21 | 46 | 17 | 32 | 111 |
| 506 | 18 | 1 | 7 | 26 | 14 | 21 | 71 |
| 507 | 7 | 1 | 6 | 14 | 10 | 12 | 23 |
| 508 | 12 | 3 | 24 | 39 | 18 | 30 | 61 |
| 509 | 12 | 5 | 18 | 35 | 18 | 28 | 49 |
| 510 | 10 | 7 | 24 | 41 | 22 | 36 | 64 |
| 511 | 8 | 1 | 15 | 24 | 14 | 22 | 31 |
| 512 | 8 | 2 | 2 | 12 | 10 | 11 | 49 |
| 601 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 602 | | | | | | | |
| 603 | | | | | | | |
| 計 | 102 | 28 | 128 | 258 | 132 | 206 | 505 |
| 全撮影 | 554 | | 別途カメラ撮影 | なし | | | |
| 撮影最大頭数 | 3 | | 別途カメラ撮影 | あり | | | |
| 平均撮影枚数 | 2.5 | | | | | | |
| 平均撮影頭数 | 1.3 | | | | | | |

| | |
|----|-----|
| 撮影 | 505 |
|----|-----|

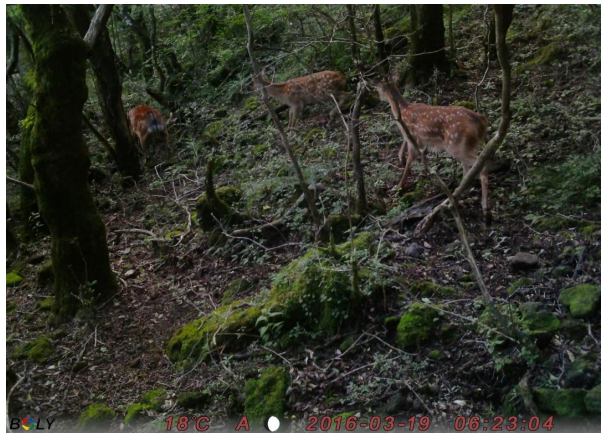
設置状況



撮影状況



撮影アングル



令和4年度 R4.6.30까지設置

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|----|----|----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 404 | | | | | | | |
| 405 | | | | | | | |
| 406 | | | | | | | |
| 407 | 1 | 7 | 2 | 10 | 5 | 7 | 26 |
| 408 | 1 | 2 | 3 | 6 | 3 | 5 | 8 |
| 409 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 410 | 2 | 12 | | 14 | 7 | 12 | 17 |
| 411 | 1 | 5 | 1 | 7 | 5 | 5 | 11 |
| 412 | | 3 | | 3 | 2 | 3 | 9 |
| 501 | | 3 | | 3 | 2 | 2 | 7 |
| 502 | | 9 | | 9 | 7 | 7 | 42 |
| 503 | | | | | | | |
| 計 | 5 | 42 | 6 | 53 | 32 | 42 | 123 |
| 全撮影 | 997 | | | | 別途カメラ撮影 | なし | |
| 撮影最大頭数 | 3 | | | | 別途イソ撮影 | あり | |
| 平均撮影枚数 | 2.9 | | | | | | |
| 平均撮影頭数 | 1.3 | | | | | | |

令和5年度

| 年月 | ニホンジカ撮影個体数 | | | | 出現 日数 | 出現 回数 | 撮影 枚数 |
|--------|------------|----|----|----|----------|----------|----------|
| | ♂ | ♀ | 不明 | 合計 | | | |
| 504 | | 1 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 |
| 505 | 4 | 2 | 3 | 9 | 6 | 6 | 9 |
| 506 | 14 | 1 | 5 | 20 | 13 | 20 | 33 |
| 507 | 2 | 2 | 5 | 9 | 6 | 6 | 48 |
| 508 | 8 | 3 | 1 | 12 | 9 | 11 | 79 |
| 509 | 1 | 2 | 1 | 4 | 3 | 3 | 18 |
| 510 | 3 | | 2 | 5 | 4 | 5 | 14 |
| 511 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 512 | | | | | | | |
| 601 | | | | | 1 | 1 | 15 |
| 602 | | | | | | | |
| 603 | | | | | | | |
| 計 | 33 | 11 | 19 | 63 | 45 | 56 | 222 |
| 全撮影 | 2,733 | | | | 別途カメラ撮影 | なし | |
| 撮影最大頭数 | 4 | | | | 別途イソ撮影 | あり | |
| 平均撮影枚数 | 4.0 | | | | | | |
| 平均撮影頭数 | 1.1 | | | | | | |

令和5年11月24日10:04から11月27日13:35まで目隠しとなる。

2016/1/1 0:00 2023/4/20 10:59

2016/3/18 23:09 2023/7/7 10:12

2016/5/17 22:55 2023/9/5 9:55

GPSにより時間確認

| | |
|----|-----|
| 撮影 | 222 |
|----|-----|

(2) 調査の概要

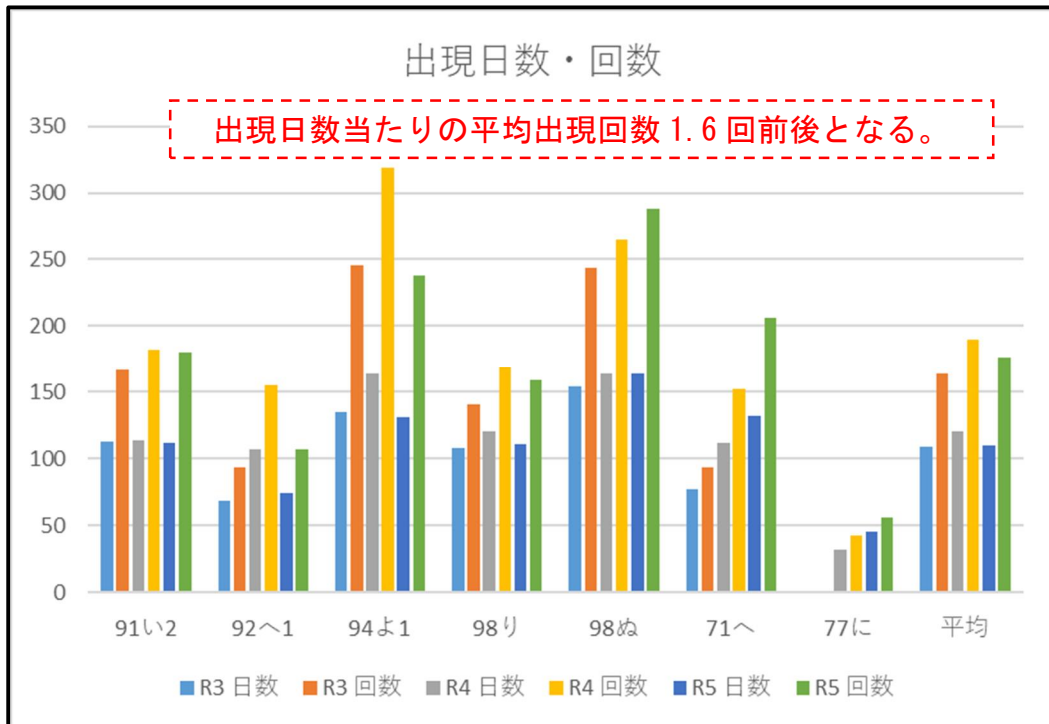
ア 出現日数と出現回数

令和3年度における平均出現日数109回、平均出現回数164回

令和4年度における平均出現日数120回、平均出現回数190回

令和5年度現時点における平均出現日数110回、平均出現回数177回

図-2 出現日数・回数



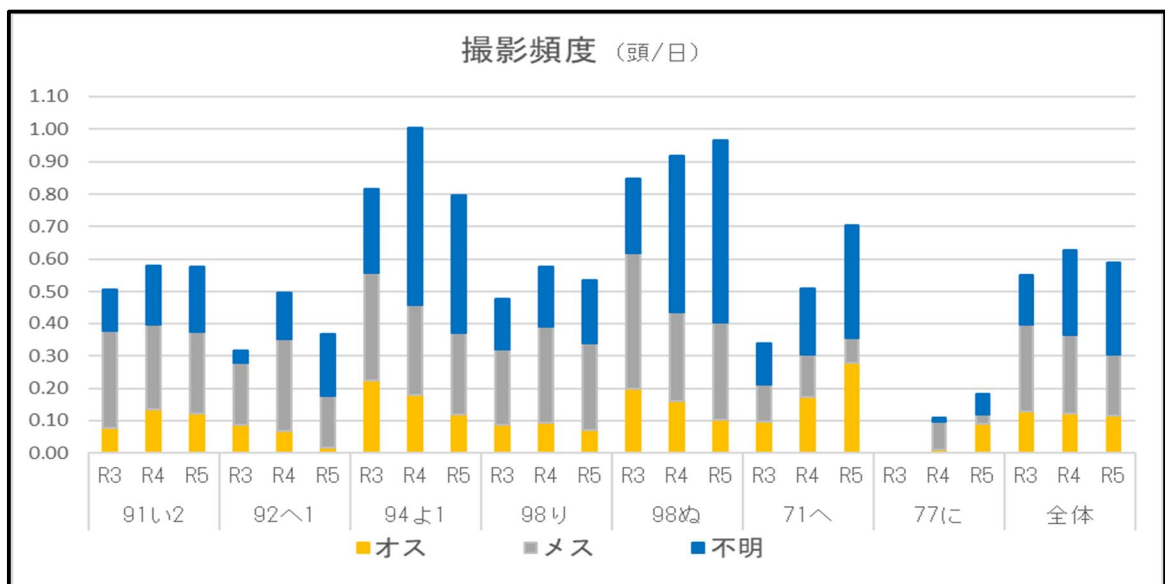
注) 「77に」は、R4.7からR6.2.1までの撮影となる。

「77に」以外は、R6.1.23までの撮影となる。

イ 撮影頻度

芦ノ湖西岸におけるオス割合は約3割であったが、芦ノ湖東岸におけるオス割合は令和4年度約4割、令和5年度約8割となりオスメスの出現割合が違う。

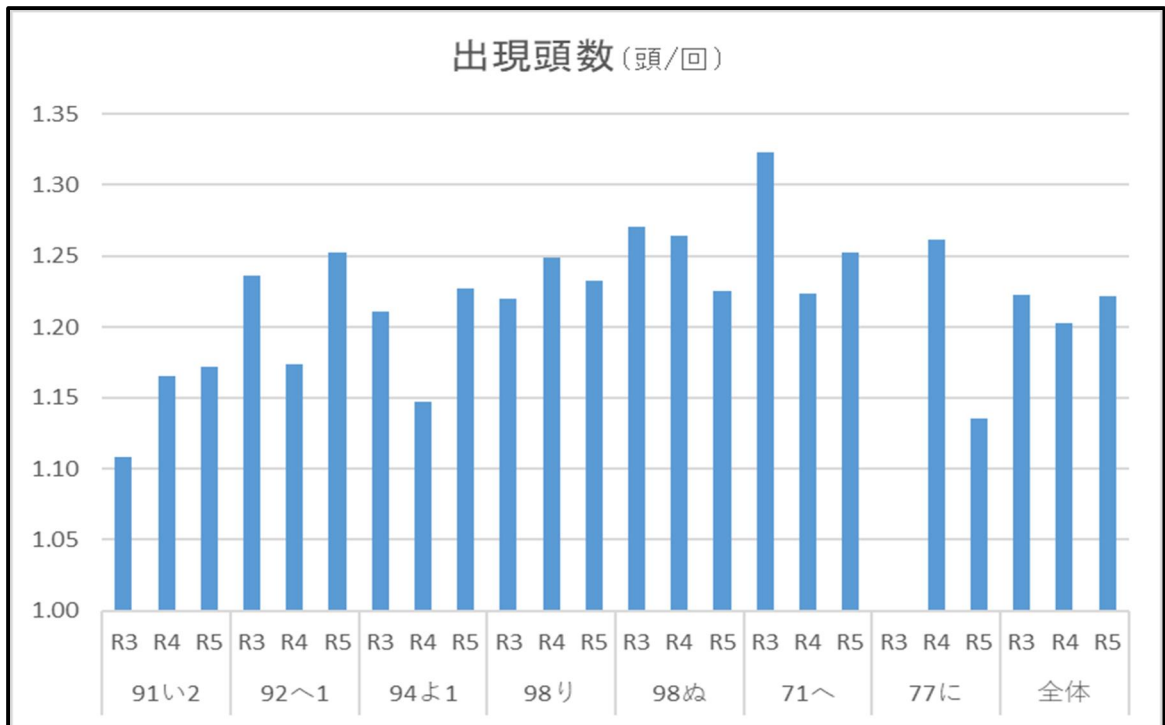
図-3 撮影頻度



ウ 平均出現頭数と撮影最大頭数

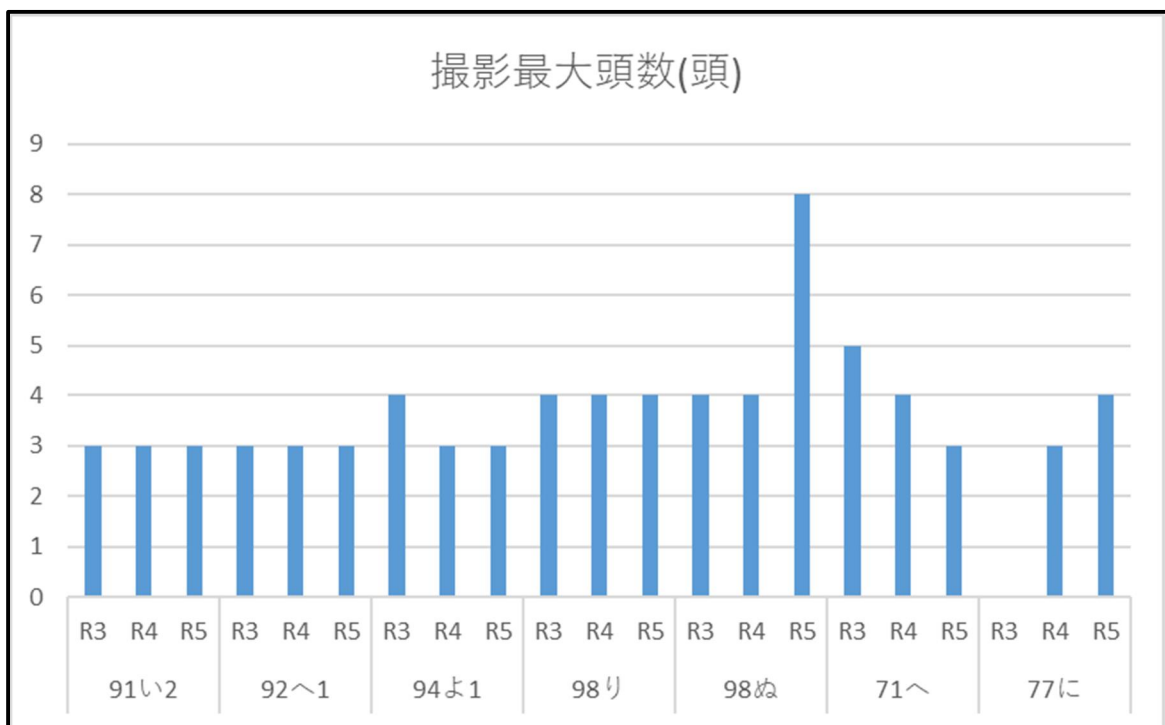
単独移動及び子連れ移動（2頭）の撮影が多く、グループによる移動は比較的に少ない状況にある。基本グループは、3・4頭の移動となっている。

図－4 出現頭数



71林班へ小班で一度6月に8頭（撮影枚数1枚）、4頭（撮影枚数1枚）の撮影があった。それ以外は、3頭以下となっている。

図－5 撮影最大頭数



エ 月別撮影個体数と月別出現回数

各箇所の月別のピークが同じ傾向にあることからニホンジカの移動は、芦ノ湖に対して横方向ではなく、縦方向の移動と考えられる。

また、現地においても、獣道は、横方向が少ないことから撮影結果と一致する。例年。10月前後の撮影が多い傾向となっている。

図-6 箇所・月別 撮影個体数

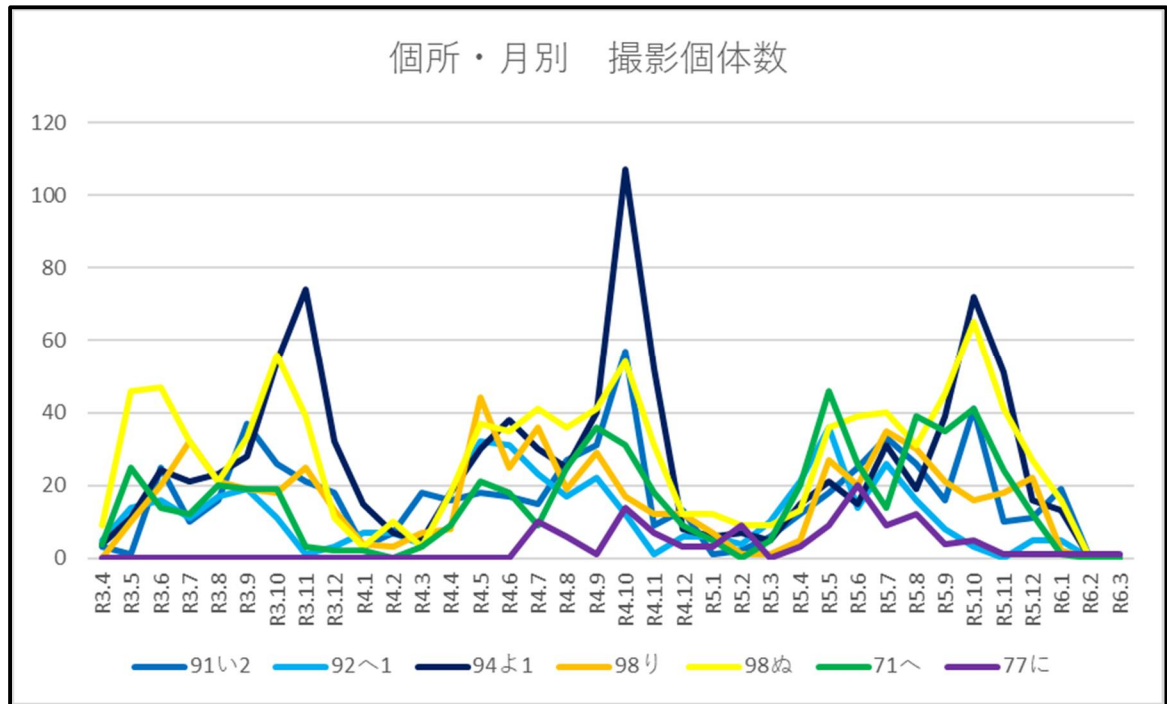
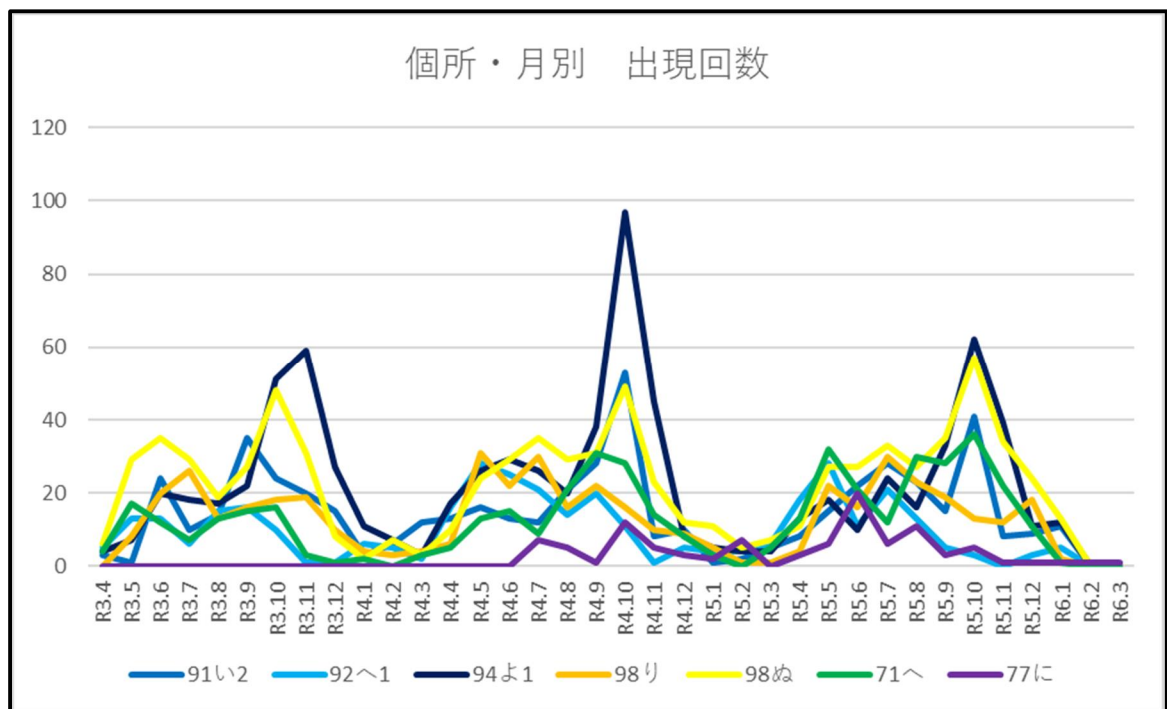


図-7 箇所・月別 出現回数



オ その他動物

カモシカ及びイノシシの出現状況は表－１のとおりとなる。

現段階では、ツキノワグマの出現は確認されていない。

撮影には、ウサギ、テン、タヌキ、ハクビシンの小動物が撮影されている。

芦ノ湖東岸の77林班に小班（駒ヶ岳国有林）では、鳥類の撮影が多く見られ、撮影枚数が他に比べ多くなっている。

表－１ カモシカ及びイノシシの出現

| カモシカ イノシシ | 91い2 | | 92へ1 | | 94よ1 | | 98り | | 98ぬ | | 71へ | | 77に | |
|--------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | カモシカ | イノシシ | カモシカ | イノシシ | カモシカ | イノシシ | カモシカ | イノシシ | カモシカ | イノシシ | カモシカ | イノシシ | カモシカ | イノシシ |
| R3 | なし | なし | なし | なし | なし | あり | あり | あり | なし | なし | なし | あり | - | - |
| R4 | なし | なし | あり | なし | あり | あり | あり | なし | なし | あり | なし | あり | なし | あり |
| R5 | なし | なし | あり | なし | あり | あり | なし | なし | なし | なし | なし | あり | なし | あり |

カ その他

整理表は別添のとおり

2 国有林内における植生保護柵対応状況

図-8 区域（イメージ図）

(1) 芦ノ湖西岸における植生保護柵

ア 区域

畑引山国有林 89～93林班

三国峠国有林 94～100林班

イ 設置状況

11箇所988m

ウ 点検状況

基本毎月点検の実施を行う。

(2) 三国山地域における植生保護柵

ア 区域

柵設置優先地域（次期ニホンジカ管理計画）

三国峠国有林 100林班

イ 環境省設置状況

1箇所40m

(3) 駒ヶ岳・神山地域における植生保護柵

ア 区域

柵設置優先地域（次期ニホンジカ管理計画）

駒ヶ岳国有林 75～79林班

イ 東京神奈川森林管理署設置状況

2箇所57m 12月設置

ウ 点検状況

12月下旬、2月上旬に点検（異常なし）



エ 環境省設置状況及び対応状況

1箇所40m

2箇所84m 12月踏査、1月現地測量済みで今後設置予定

(4) 台ヶ岳地域における植生保護柵

ア 区域

柵設置優先地域（次期ニホンジカ管理計画）

台ヶ岳国有林 66～74林班

イ 環境省設置状況及び対応状況

2箇所84m 11月踏査、1月現地測量済みで今後設置予定

- 3 芦ノ湖西岸における職員実行のニホンジカ有害鳥獣捕獲
1月末現在で、オス2頭、メス2頭、計4頭を捕獲。
3月中旬まで随時実施予定

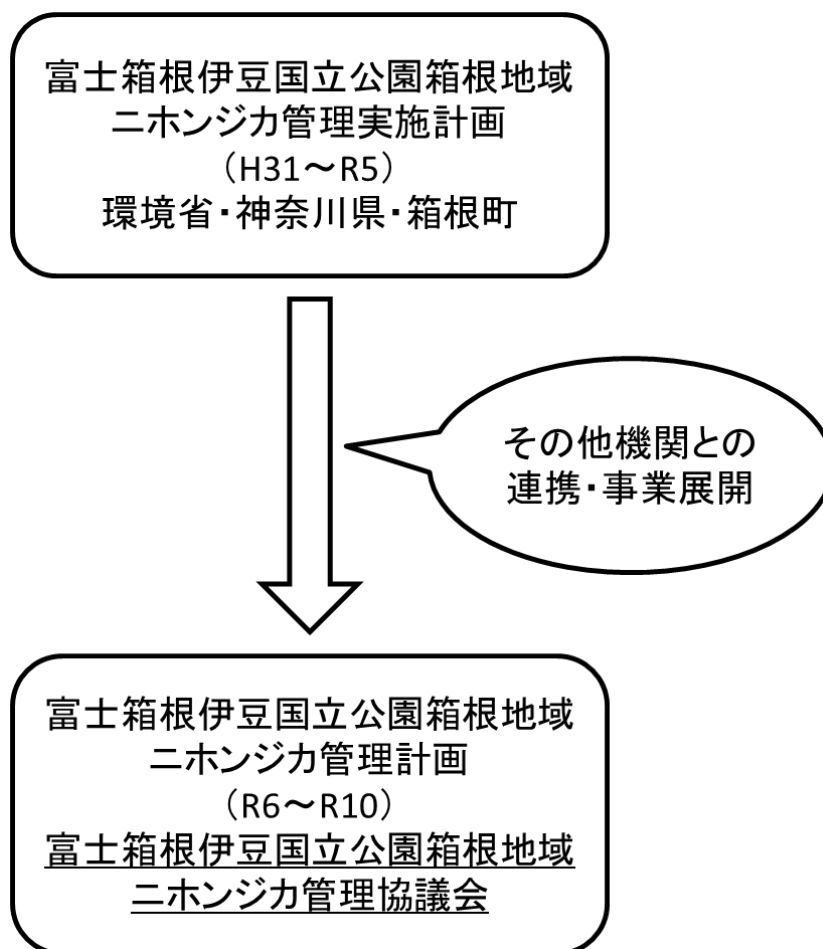


富士箱根伊豆国立公園箱根地域ニホンジカ管理協議会の設立について

平成 31 年度に策定された「富士箱根伊豆国立公園箱根地域ニホンジカ管理実施計画」は策定主体が、神奈川県、箱根町、環境省のみであった。

しかし、対策を行うなかで、様々な機関との連携や事業展開が必要となった。今後さらなるシカ対策の効果的な実施にあっては、多様かつ広範な関係者が一体となって対策の強化を図ることが重要である。

そのため、箱根のシカ対策に関わる多くの関係機関・団体が参画する協議会を設置し、「富士箱根伊豆国立公園箱根地域ニホンジカ管理計画」を策定することとした。



影響度ランク・長期区分の考え方

1. 影響度ランク・長期区分の考え方

シカ影響の変化は影響の度合いによって連続的に変化する。そのため長期区分の影響度ランクも連続的であることが重要である。またより分かりやすい表現で記述されることも重要である。こうした点を踏まえ、影響度ランク長期区分を整理した。

シカの採食圧によって現れる連続的な変化の基準として低木に着目した。最初にシカの影響の度合いによって低木にどのような変化が生じるかを整理した（表1）。次に低木の変化を基準にして、ある段階に達したときに他の要素（例えば開花個体の有無やディアラインの有無など）がどのように変化しているかを対応させた（表2）。これらを整理して長期区分とした（表3）。

表1 長期区分に対応した低木の変化

| 長期区分 | 低木 |
|------|---------|
| 0 | 更新可能 |
| 1 | 矮性化 |
| 2 | 樹皮剥ぎ目立つ |
| 3 | 枯死あり |
| 4 | 枯死目立つ |
| 5 | 消失 |

表2 低木の変化に対応させた他の要素の変化

| 長期区分 | 低木 | 高木 垂高木 | スズタケ (注1) | スズタケ 以外 | 草本 開花 | 不嗜好 性植物 | ディア ライン | 土壌 |
|------|--------------------|-----------|---------------|------------|-----------|------------|------------|------|
| 0 | 更新可能 | 稚樹あり | | | あり | | | |
| 1 | 矮性化 | | 矮性化 | | 小型化 減少 | | | |
| 2 | 樹皮剥ぎ目立つ (注2・注3) | | 枯死あり | 矮性化 | なし | | | |
| 3 | 枯死あり | | 枯死目立つ (注4) | | | 目立つ | あり | |
| 4 | 枯死目立つ | | | 枯死あり | | | | 侵食あり |
| 5 | 消失 | | 消失 | 消失 | | | | 崩壊 |

注1) ササはもっとも影響が出やすいスズタケとそれ以外に区別した。

注2) 長期区分2以降では「低木」と「高木・垂高木」を区別せず「樹木」としてまとめた。

注3) 長期区分1でも樹皮剥ぎは観察される。しかし区分1に「樹皮剥ぎ」を入れると複雑になるので、区分2を「樹皮剥ぎあり」ではなく「樹皮剥ぎ目立つ」とした。

注4) 「ほぼ全枯れ」も含む表現として「目立つ」を使用した。

表3 整理された長期区分

| 長期区分 | 木本の矮性化、枯死、不嗜好性の繁茂等 |
|------|--|
| 0 | 従来の植生が維持されている。高木性樹種の稚樹が生育。更新可能な状態。 |
| 1 | 低木、スズタケに矮性化が見られる。不嗜好性以外の草本が小型化して非開花個体が増える。 |
| 2 | 樹木に古新の樹皮剥ぎが目立つ。スズタケに枯死個体が見られ、他のササに矮性化が見られる。不嗜好性以外の草本の開花個体なし。 |
| 3 | 樹木に枯死個体を確認できる。スズタケは枯死個体が目立つ。不嗜好性植物が目立つ。ディアラインができる。 |
| 4 | 樹木に枯死個体が目立つ。全てのササ種に枯死個体が見られる。土壌侵食が見られ、これにより木本の根が露出。 |
| 5 | 植物がほぼ枯死。地表土壌が流出し、裸地(岩山)に近い状態になる。 |